



みどり市 子どもの読書活動推進計画（第2期）

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度



2023年3月

みどり市

— 目 次 —

はじめに	1
第1章 計画の策定の趣旨	2
1. 目的	
2. 基本方針	
3. 計画の対象	
4. 計画期間	
5. 計画の体系	
第2章 子どもの読書活動推進のための基本施策	4
1. 家庭、地域における子どもの読書活動の推進と環境整備	4
(1) 家庭における読書活動の推進と環境整備	
(2) 地域における読書活動の推進と環境整備	
2. 学校等における子どもの読書活動の推進と環境整備	10
(1) 幼稚園・保育施設における子どもの読書活動の推進と環境整備	
(2) 学校における読書活動の推進と環境整備	
3. 子どもの読書活動を推進する機関と団体等の連携と協力	12
(1) 機関・団体等との連携協力	
(2) 子どもの読書活動を支える人材の育成	
(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及	
第3章 計画の目標とする指標について	13
1. みどり市の読書活動の現状（アンケート結果より）	13
2. 今後の目標とする指標	33
参考資料	34
○ 子どもの読書活動推進に関する施設一覧	34
○ みどり市立図書館における子どもの読書活動の推進に関する取組状況	36
○ 関連法令 子どもの読書活動の推進に関する法律	39
○ 用語解説	41

はじめに

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

そこで、家庭・幼稚園・保育施設・学校・地域等、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことが重要です。みどり市では、ブックスタート（※1）事業による本と出会うきっかけづくりや学校の朝読書（※2）の実践、及び幼稚園・保育施設、学校、図書館でのボランティア団体との協働による読書推進などを行ってきました。

しかし、インターネットやスマートフォンの普及により、子どもたちを取り巻く読書環境は大きく変化し、情報や知識の習得方法、また、読書の在り方にも大きな影響が及んでいます。さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」が指摘されています。近年においては、新型コロナウイルス感染拡大とそれに伴う「新しい生活様式」の実践により、社会の在り方が変わってゆく中、子どもを取り巻く読書環境もまた、変化を余儀なくされています。

国においては、平成13年12月に「子どもの読書活動の推進に関する法律」を公布・施行し、これに基づき平成14年8月に「子どもの読書活動の推進に関する基本計画（第一次）」を策定、平成31年4月に第四次計画を策定し、現在に至っています。

群馬県においても、平成16年3月に「群馬県子ども読書活動推進計画（第一次）」を策定した後、平成27年7月に第三次計画を策定し、子ども読書活動の推進が行われてきました。さらに令和2年3月に策定された「群馬県読書活動推進計画」に基づいて、子どもから大人まで、すべての県民の読書活動の推進が図られているところです。

みどり市におきましても、国・県の動き及び「第2次みどり市総合計画（2018年～2027年度）」に基づき、平成30年3月に「みどり市子どもの読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動を推進してきました。現行計画が期間満了となることから、子どもの読書活動のいっそうの推進を図ることを目的に、新たに第二次計画を策定するものです。

第1章 計画の策定の趣旨

1. 目的

『みどり市子どもの読書活動推進計画』は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（第9条第2項）や、群馬県教育委員会が策定した「群馬県読書活動推進計画」を踏まえ、みどり市における「第2次みどり市総合計画（2018年～2027年度）」に基づき、子どもの読書活動の推進に関する施策の方向性や取組を示すことを目的としています。

2. 基本方針

この計画の基本方針は次のとおりです。

- （1）家庭、地域における子どもの読書活動の推進と環境整備
- （2）学校等における子どもの読書活動の推進と環境整備
- （3）子どもの読書活動を推進する機関と団体等の連携と協力

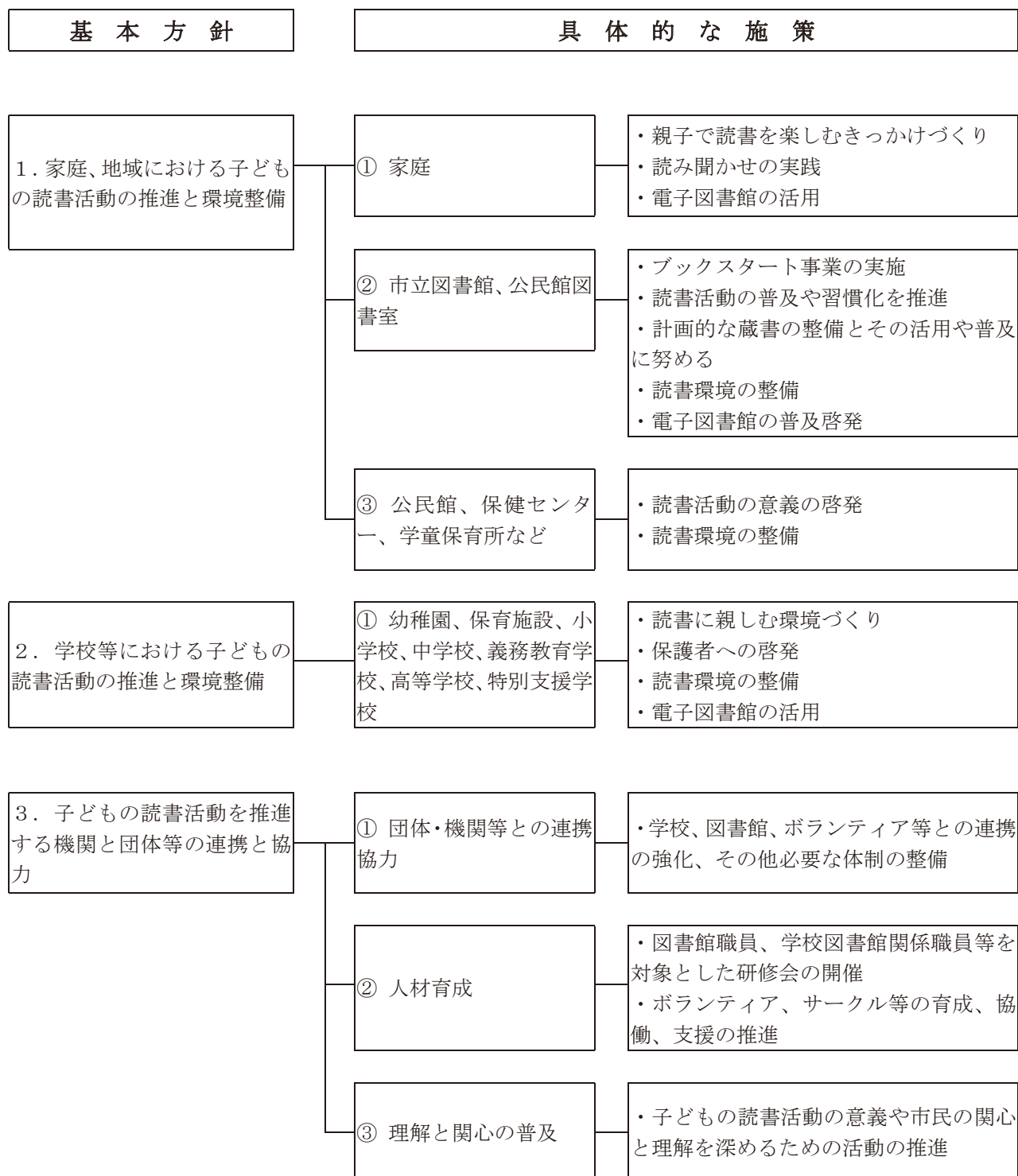
3. 計画の対象

この計画の対象は、子ども（0歳からおおむね18歳まで）とします。

4. 計画期間

この計画の実施期間は、2023年度から2027年度までの5年間とします。

5. 計画の体系



第2章 子どもの読書活動推進のための基本施策

1. 家庭、地域における子どもの読書活動の推進と環境整備

(1) 家庭における読書活動の推進と環境整備

家庭は、子どもの生活習慣を育む場であり、子どもが初めて本と出会う場所です。家庭における読み聞かせなどの読書活動は、家族のふれあいや親子のコミュニケーションを深めることにもつながります。

また、親は、子どもの頃から読書習慣を身に付けることの重要性を理解し、日常の生活を通して、読書が生活の一部として継続的に行われるよう、子どもの読書活動に積極的に関わっていくこと（「親自身が読書する姿を子どもに見せる」「子どもと一緒に図書館に出かける」「読み聞かせやおはなし会に参加する」等）が必要です。

家庭の読書環境を整えるために、保護者が本や読書の楽しさについて学ぶ機会の提供や、周知活動を進めます。

<現状と課題>

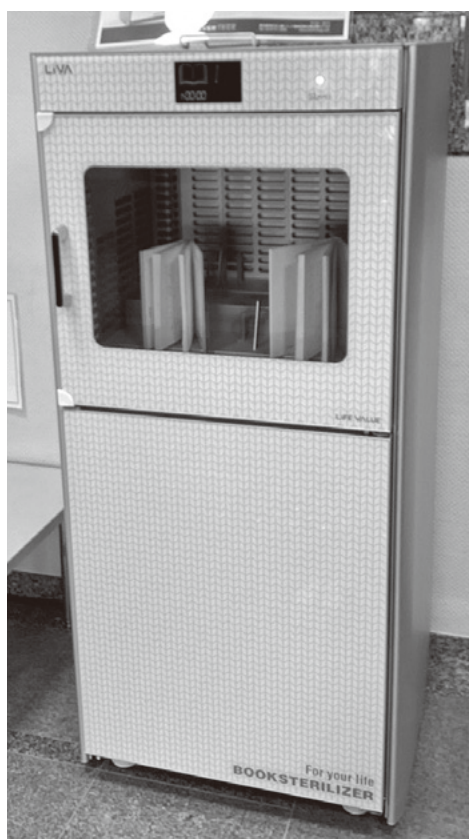
- ・2008年度（平成20年度）から図書館（室）、健康管理課、こども課と連携しブックスタート事業を実施しています。これは、生後4か月から10か月の乳児を対象に図書館職員が読み聞かせの大切さ、絵本を通した親子のふれあい等を説明しながら絵本を手渡すものです。新型コロナ感染拡大が懸念される時期には、絵本を渡すのみとしていました。アンケート結果では、読み聞かせを始めたきっかけがブックスタートと答えた保護者が37%おり、前回の27%よりも増加しています。これは、新型コロナの影響で、読み聞かせやおはなし会など他のイベントが少なくなっているためと思われ、ブックスタート事業が重要な役割を果たしています。今後も継続して実施し、すべての赤ちゃんが絵本と出会うきっかけとなるように、現在約70%の参加率を向上させる必要があります。

- ・保健センターで実施される生後6か月前後の乳児とママを対象とした離乳食教室「赤ちゃんレストラン」で、図書館職員による絵本の紹介や、読み聞かせの大切さを伝えています。令和4年度時点で、絵本の紹介等は、感染症拡大防止のため休止していますが、感染対策をした上で、再開することとなっています。

- ・アンケート結果から、1か月間に親子で図書館等に行った回数が0回は59%で、前回の57%よりも若干増加していました。新型コロナ感染拡大により外出を控えるなどの影響もあったと思われること、親子で本に触れる機会が殆ど家庭内に任される状態の時期が続いたことが考えられます。今後は、積み重ねた感染防止対策のノウハウを生かして、日常生活で本にふれあう機会が増えるきっかけとなるような推進活動を工夫していくことが必要です。

<具体的な取り組み>

- ・ブックスタートの参加率向上のために事業の意義をさらに周知します。
- ・保護者向けの読み聞かせに関する講座の開催、親子で読書を楽しむことを目的とした事業を実施します。
- ・読み聞かせに良い絵本のリストや年齢別のおすすめ本のリストなどを図書館内で配布及び図書館のホームページに掲載します。
- ・感染対策を十分にした上で読み聞かせ等のイベントを実施し、みどり市広報、ホームページ、子育て応援アプリ「みどりん」（以下「みどりん」という。）等により情報提供をしていきます。



除 菌 機

（２）地域における読書活動の推進と環境整備

① 市立図書館・公民館図書室

子どもの読書活動を推進するためには、いつでも、どこでも、子どもの身近な地域で本と親しむことができる環境を整備していく必要があります。

特に、市立図書館や公民館図書室は、子どもが学校以外で多くの本と出会える場所であり、自分の読みたい本を自由に選び、読書の楽しみや、知識・情報を得ることのできる学びの場でもあります。

また、その時々の子どもの取り巻く社会環境等を十分認識した上で、子どもや親に対して読書活動の普及や習慣化を推進していく必要があります。

ア 図書館資料の整備

<現状と課題>

- ・図書館、公民館図書室の蔵書数は242,895冊、うち児童書は79,135冊32.6%です。貸出数は378,928冊、うち児童書の貸出数は99,747冊26.3%となっています。
- ・電子図書館を令和2年度に導入し、蔵書数は4,981冊、うち児童書・絵本は1,073冊です。学校との連携により、児童生徒がより電子図書館を利用しやすい環境を作っていく必要があります。

<具体的な取り組み>

- ・専門職員により子どもの成長や年代に応じた図書を計画的にそろえるとともに、その活用や普及に努めていきます。
- ・子どもの本や読書に関する保護者向けの図書の充実を図ります。
- ・電子図書館については、学校と協力し利用促進のための広報活動を進めていきます。学校での読書活動にも電子図書館がより活用されるよう、連携を深めていきます。

イ 図書館活動に関する情報提供

<現状と課題>

- ・みどり市広報、ホームページ、図書館だより、「みどりん」等により情報提供をしています。
- ・図書館のホームページでオンライン閲覧目録（OPAC）（※3）による蔵書の情報提供と予約受付をしています。
- ・「子ども読書週間」（4月23日～5月12日）及び「読書週間」（10月27日～11月9日）、並びに夏休み等に、読書推進を目的として、本の展示や図書館職員による読み聞かせ、図書館ミッション（※4）等の事業を行っています。
- ・各年代向けにおすすめ本のリストを作成しています。

<具体的な取り組み>

- ・みどり市広報、ホームページ、図書館だより、「みどりん」等の情報提供を引き続き行い、市民が求める情報を的確に提供できるようにしていきます。
- ・読書週間等に係る事業は引き続き実施し、読書活動のPRに努めます。
- ・おすすめ本のリストは子どものニーズや時代にあわせ、定期的に更新していきます。

ウ 図書館サービスの格差解消

<現状と課題>

・図書館から遠い地域に住む子ども達も等しく図書館を利用できるように、読書環境を整備する必要があります。

<具体的な取り組み>

・幼稚園・保育施設、学校、公民館等の配本場所を増やし、子ども達がいつでも本にふれあう機会が持てるように、図書館サービス網の密度を高めていきます。コロナ禍により配本を停止している場所もあるので、感染状況を見極めながら、適切に配本場所を増やしていけるよう、他施設と協力して取り組みます。

エ 図書館相互や関係機関との連携協力

<現状と課題>

・図書館にない本を他自治体の図書館との相互貸借制度（図書館同士の本の貸借）の活用により取り寄せるなどして、利用者の要望に応じています。
・健康管理課やこども課と連携を図り、ブックスタート等の事業を実施しています。
・子どもたちが様々な分野の本に関心を持てるよう、社会教育施設や市の他部局と協力していく必要があります。

<具体的な取り組み>

・県立図書館や県内図書館との図書館間相互貸借の連携、協力を進めます。
・関係機関と連携を図り、ブックスタート等の事業の周知、充実を図ります。
・社会教育施設や他部局との連携協力により特集コーナーの充実やイベントの実施などにより、子どもたちが関心を持って来館するきっかけづくりを進めます。

オ 学校図書館との連携協力

<現状と課題>

・学校図書館や学級への配本貸出や授業に必要な本の団体貸出をしています。利用している学校は、14校（小学校7校、中学校4校、義務教育学校1校、高等学校1校、特別支援学校1校）中8校です。
・ブックトーク（※5）や読み聞かせの出前講座を実施しています。令和4年度時点では新型コロナの感染拡大により出前講座の利用はありませんでした。
・電子図書館の学校での活用は、今後の課題です。

<具体的な取り組み>

・配本貸出（※6）や団体貸出の利用を推進します。
・学校と連携し、電子図書館を含めた読書活動を推進します。
・出前講座（※7）を周知し、内容についても学校等の要望を基に検討します。

カ ボランティア活動の推進

<現状と課題>

・読み聞かせボランティアグループ4団体により、図書館、公民館図書室において、「おはなし会」を実施しています。
・図書館、公民館図書室では、会場提供、広報活動、団体主催事業の協力、支援を行っています。新型コロナの影響により活動が制約されていましたが、活動再開には、図書館による感染拡大防止対策の支援が必要です。

- ・幼稚園・保育施設、学校の約 50%は、読み聞かせボランティアグループとの連携や協力が行われています。
- ・読み聞かせボランティアグループは、各団体とも長年にわたり活動をしています、会員の高齢化と新規会員の減少が課題です。

<具体的な取り組み>

- ・読み聞かせボランティアグループと図書館などの関連施設との連携・協力を推進します。休止しているグループも活動を再開できるよう、感染拡大防止対策について施設が積極的に協力してイベントの開催を支援していきます。
- ・読み聞かせボランティア養成講座等を開催しボランティアの啓発や人材育成を図ります。

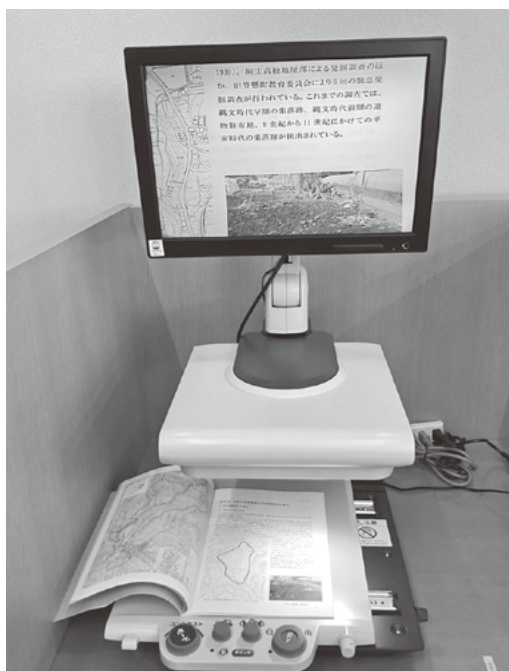
キ 障がいのある子どもへの取り組み

<現状と課題>

- ・障がいのある子どもに配慮した図書の所蔵は少なく、少しずつ整備しているところですが、その存在を広く知っていただくための広報活動も必要です。
- ・障がいのある子どもへ配達貸出（※8）を実施しています。サービスの周知が課題です。

<具体的な取り組み>

- ・障がいのある子どもが、読書活動を十分に行うことができるように、関係機関との連携を通して、読書環境の整備に努めます。
- ・障がいに配慮した図書の紹介、周知を推進します。
- ・拡大読書器（※9）や音声読書器（※10）などの機器の周知と活用を推進します。
- ・配達貸出について関係機関と連携を図り周知します。



拡大読書器



音声読書器

② 公民館、保健センター等の施設

ア 公民館

<現状と課題>

・みどり市にある3館の公民館のうち、1館には公民館図書室があり、市立図書館の分館的な機能を果たしています。図書室のない公民館については、図書館の配本貸出による図書コーナーを設置し、子どもの読書活動を支援しています。今後は効果的なサービスを展開できるように市立図書館との連携の強化が必要です。

<具体的な取り組み>

・公民館においては、家庭教育学級等で、読み聞かせなどの子どもが読書に興味・関心を持つような事業を開催していきます。
・子ども会育成会やPTA等の社会教育関係団体を通じた活動などにより、親に対する読書活動への理解を得る取り組みを進めます。

イ 保健センター

<現状と課題>

・生後4か月健診において、ブックスタート事業の引換券を保健センターより配付し読み聞かせの推進をしています。
・乳幼児やママを対象とした保健センター事業で、絵本の紹介や、読み聞かせの大切さを伝えています。

<具体的な取り組み>

・乳幼児健診や子育て講座等で引き続き読み聞かせの推進をしています。
・図書館の配本貸出を活用し、健診の待ち時間等に育児本や絵本などを利用できるようにします。
・感染症拡大状況により読み聞かせが実施できない場合にも、絵本の紹介や読み聞かせの大切さを伝える資料等を作成、配付して啓発に努めます。

ウ 学童保育所

<現状と課題>

市内には学童保育所が10か所あります。全ての学童保育所に図書コーナーがあり子どもたちが自由に読書をする環境があります。また、学童支援員やボランティアによる読み聞かせを行っています。市立図書館から絵本や読み物を届ける配本事業で図書館から遠方にある学童保育所でも、市立図書館の資料を利用して子どもが本に親しむ機会を増やすことができます。しかし、新型コロナウイルスの影響で配本及び団体貸出を利用している学童保育所は減少しています。

今後も配本貸出の利用等で市立図書館との連携を強化し、資料の充実や読み聞かせの実施等により読書環境の充実に努める必要があります。

<具体的な取り組み>

・学童支援員等による紙芝居や絵本の読み聞かせを実施しています。

2. 学校等における子どもの読書活動の推進と環境整備

幼稚園・保育施設、学校では、読み聞かせや全校一斉朝読書等、園や学校生活を通じた読書活動を推進し、子どもが日常的に本を手に取り、楽しむ習慣をつくっていきます。また、行事や広報を通して、保護者へ読み聞かせや読書を広める取り組みをしていきます。

(1) 幼稚園・保育施設における子どもの読書活動の推進と環境整備

幼稚園・保育施設においては、子どもが絵本や物語と出会い、想像力を育みながら多くの言葉にふれる経験により、言語感覚を養うとともに豊かな情操を育むことができるよう、本にふれあう環境を充実させていきます。また、保護者に対しては、読み聞かせ等の大切さや意義を広く普及していきます。

<現状と課題>

- ・幼稚園・保育施設では、教諭や保育士やボランティアによる読み聞かせなどを通して日常的な読書活動の推進を行っています。
- ・市立図書館の配本貸出や団体貸出を利用している幼稚園・保育施設は、50%です。今後も、園の蔵書を補うため、さらに配本貸出や団体貸出を進めていく必要があります。
- ・保護者への情報提供や家庭における読み聞かせの重要性の啓発が課題です。

<具体的な取り組み>

- ・市立図書館の配本貸出や団体貸出制度の活用、成長や年代に応じた絵本、紙芝居等の図書資料の充実に努めます。
- ・子どもの目にふれやすい本の配置にする等工夫することで、自然に本に触れ、親しみ、読書体験を積むことができる環境づくりを図ります。
- ・家庭での読み聞かせを推進するために、保護者に対して園だよりや行事を通じて働きかけをします。

(2) 学校における読書活動の推進と環境整備

子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成するため、学校においては、子どもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境を整備し、適切な支援を行っていきます。

<現状と課題>

- ・日常的な読書活動の推進は、各校がそれぞれの方法で行っています。全校一斉の朝読書は62%の学校で実施しています。その他に、「朝学習」の時間を設け、その中で読書もできる学校もあります。また、以前は実施していたがやめてしまった学校もあります。今後は全校が実施できるよう、さらに働きかけが必要です。
- ・アンケート結果から、学校図書館に行った回数が0回は46.8%で、学年があがるにつれ割合が増えています。児童・生徒のさまざまな興味・関心に応える資料を整備・充実することが必要です。
- ・市立小・中学校では、1人1台のタブレットを使っており、それを活用しながら、電子図書館の利用についても少しずつ始まっています。学校による児童生徒への読書支援を、電子図書館を含め進めていく必要があります。

<具体的な取り組み>

- ・児童、生徒の読書活動を活発化し、授業等で学校図書館を活用するために、学校図書館の図書資料と設備の充実に努めます。これを補完できるように、市立図書館・公民館図書室からの団体貸出や配本サービス、調べ学習図書の充実等、学校間及び市立図書館との連携強化を進めます。
- ・電子図書館の利用について、市立図書館と協力し、学校でも利用しやすい電子書籍の蔵書を充実させていきます。
- ・司書教諭、学校図書室司書補助員（※11）を中心とした各学校図書館で、全校的な読書活動の推進を図るとともに、市立図書館司書との連携を強め、図書館利活用が更に促進されるよう努めます。
- ・県立高校・特別支援学校においては、市立図書館ホームページのオンライン蔵書目録（OPAC）の活用により市立図書館との連携促進を図ります。



電子図書館

3. 子どもの読書活動を推進する機関と団体等の連携と協力

(1) 機関・団体等との連携協力

計画を効果的に推進するためには、家庭、幼稚園、保育施設、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、市立図書館（室）をはじめとする機関と団体等が目標と情報を共有し、相互連携して取り組みます。

(2) 子どもの読書活動を支える人材の育成

計画の推進にあたっては、子どもと本を結び付ける「人」の育成が重要です。そのために研修等による図書館司書、学校図書館司書教諭及び補助員のスキルアップやボランティア、サークル等の育成、協働、支援を進めていきます。

(3) 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

子どもの読書活動を推進するためには、読書活動の意義や重要性に対する、市民や関係団体の理解と関心が必要です。家庭、幼稚園、保育施設、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校、地域、関係機関などと連携しながら、子どもに関わるあらゆる機会を通して、広報、啓発活動を推進していきます。



おはなし会

第3章 計画の目標とする指標について

1. みどり市の読書活動の現状（アンケート結果より）

子どもの読書に関するアンケート調査について概要

（1）調査目的

みどり市子どもの読書活動推進計画（第2期）の策定に伴い子どもの読書活動の実態を把握するために実施

（2）調査対象

子ども：市内小学校5年生、中学校2年生、義務教育学校5年生・8年生、
高等学校2年生、

渡良瀬特別支援学校小学部5年生・中学部2年生・高等部2年生

保護者：市内幼稚園・保育施設5歳児保護者、未就園児保護者（笠懸・大間々公民館主催教室参加者および子育て支援アプリ「みどりん」にて募集）

施設：市内幼稚園、保育施設、小中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校

（3）対象人数（施設数）

子ども：小学校・義務教育学校5年生 386人、中学校2年生・義務教育学校8年生 456人、高等学校2年生 118人、
渡良瀬特別支援学校 42人 合計 1,002人

保護者：幼稚園 96人、保育園・認定こども園 224人、合計 320人

施設：幼稚園 3園、保育園・認定こども園 11園、
小中学校 11校、義務教育学校 1校、高等学校 1校、
特別支援学校 1校 合計 28施設

* 未就園児保護者の回収率が低かったため、統計には含めないこととします。

（4）調査方法

ぐんま電子申請受付システムによる。

（5）実施期日

2022年（令和4年）9月

（6）回収結果

児童・生徒

	配布数	回答数	回答率
小学5年生、義務教育学校5年生 特別支援学校小学部5年生	386	235	61%
中学2年生、義務教育学校8年生 特別支援学校中学部2年生	456	351	77%
高校2年生、特別支援学校高等部2年生	118	25	21%
合 計	1,002	611	61%

保護者

	配布数	回答数	回答率
幼・保5歳児の保護者	320	64	20%

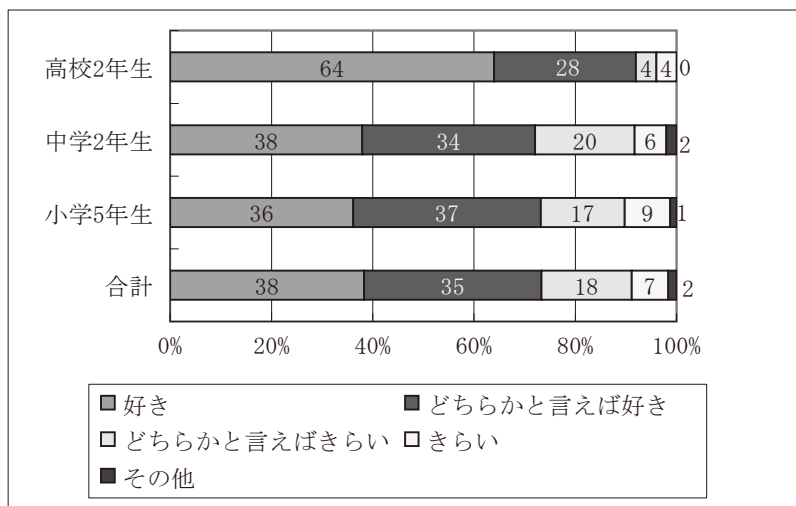
* 設問の中で、複数回答のものは回答者が重複しているため合計人数が回答者数よりも多く、割合の合計が100%を超えているものもあります。

あなたは本を読むことが好きですか。

回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
好き	234	85	133	16
どちらかと言えば好き	214	87	120	7
どちらかと言えば嫌い	109	39	69	1
嫌い	44	21	22	1
その他	10	3	7	0

本を読むことが「好き(38%)」「どちらかと言えば好き(35%)」という回答は全体の約7割である。

*その他:大好き、どちらでもない、気分による、苦手、ジャンルによって違う、その時による、普通。

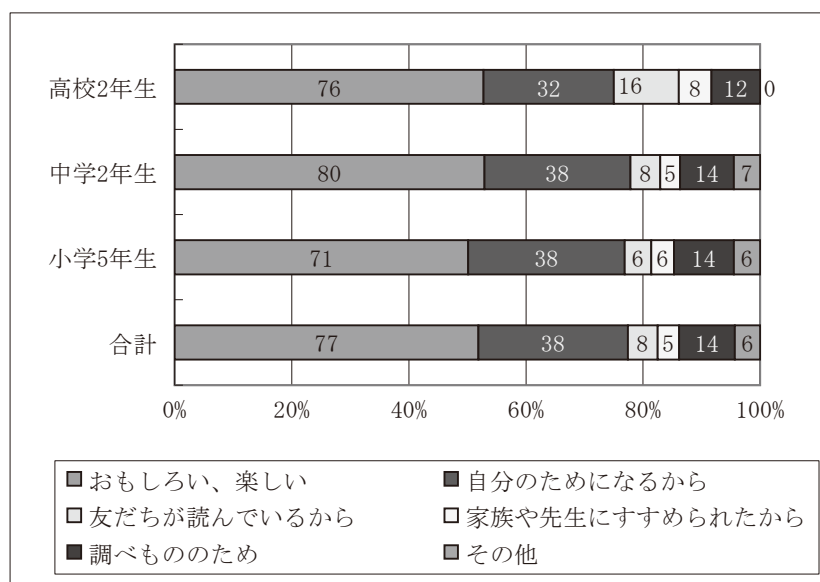


本を読む理由は何ですか。(複数回答、2つまで)

回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
おもしろい、楽しい	468	167	282	19
自分のためになるから	230	89	133	8
友だちが読んでいるから	46	15	27	4
家族や先生にすすめられたから	33	13	18	2
調べもののため	86	34	49	3
その他	39	15	24	0

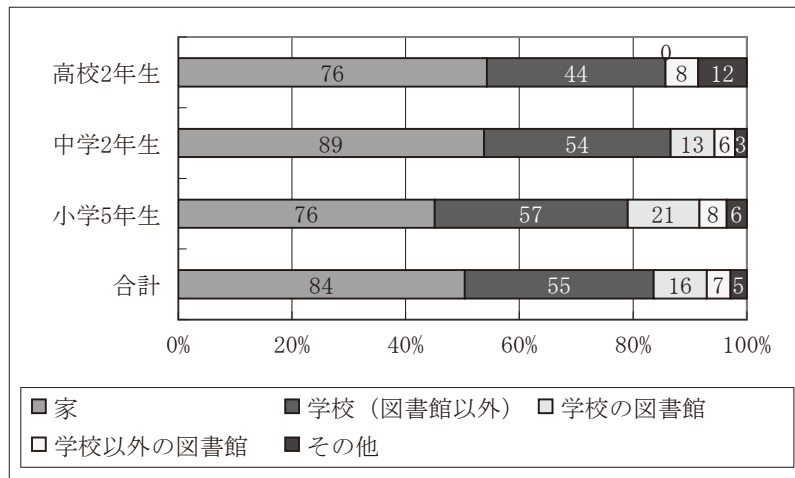
本を読む理由は、「おもしろい、楽しい(77%)」が最も多く、つづいて「自分のためになる(38%)」である。

*その他:読めと言われているから、遊び、好きだから、読書感想文、理由はない、偉人等が好きだから、勉強になる、課題、暇つぶし、なんとなく、気分、興味がある、推しが登場するから、落ち着く、物語が好きだから。



本を読む場所はどこですか。(複数回答、2つまで)

回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
家	511	397	582	35
学校(図書館以外)	337	179	313	19
学校の図書館	95	135	191	11
学校以外の図書館	42	50	45	0
その他	29	19	21	2
		14	12	3

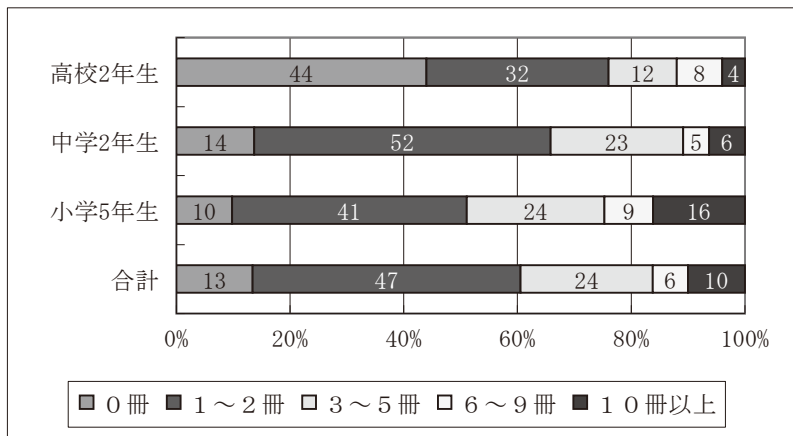


本を読む場所は、「家(84%)」、「学校(55%)」となっている。「学校の図書室」「図書館」は、学年が上がるにつれて少なくなる。

*その他:どこでも読む、車の中、涼しいところ、電車、静かな場所、病院、学童。

先月の1か月に読んだ本の数は何冊ですか。

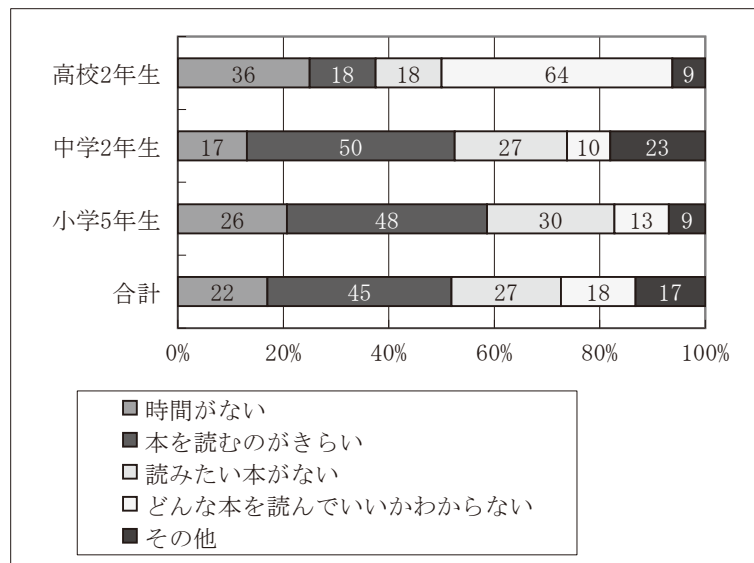
回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
0冊	82	235	351	25
1～2冊	288	23	48	11
3～5冊	142	97	183	8
6～9冊	38	57	82	3
10冊以上	61	20	16	2
		38	22	1



1か月に読んだ本数は、「1～2冊(47%)」が最も多く、「3～5冊(24%)」、「0冊(13%)」、「10冊以上(10%)」などとなっている。学年が上がるにつれて、1冊も読んでいない割合が大きくなる。

前問で0冊と答えた人は、本を読まなかった理由は何ですか。(複数回答、2つまで)

回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
時間がない	18	6	8	4
本を読むのがきらい	37	11	24	2
読みたい本がない	22	7	13	2
どんな本を読んでいいかわからない	15	3	5	7
その他	14	2	11	1

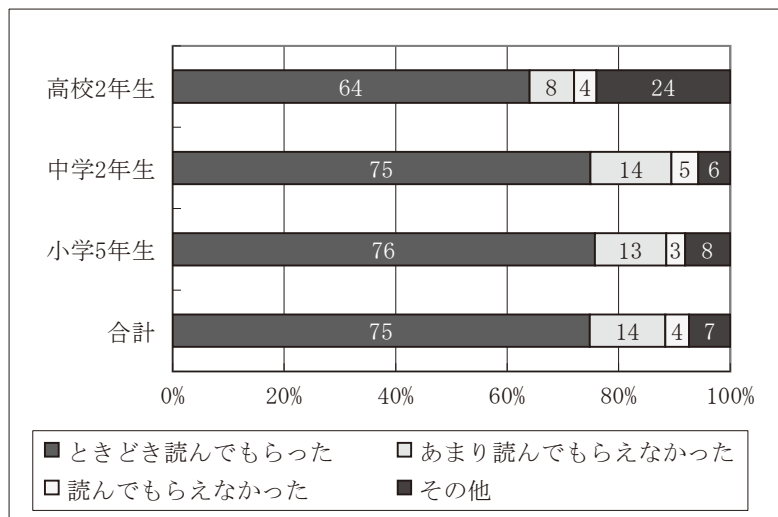


本を読まなかった理由は、「本を読むのがきらい(45%)」、「読みたい本がない(27%)」、「時間がない(22%)」だった。

* その他: つまらない、入り込めない、静かな場所が少ない、調べることない、長すぎてまだ読み終わっていない、読む理由がない、友だちと遊ぶから、読みたくない、気分じゃない。

小さい頃に本を読んでもらったことはありますか。

回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
ときどき読んでもらった	457	178	263	16
あまり読んでもらえなかった	83	30	51	2
読んでもらえなかった	26	8	17	1
その他	45	19	20	6

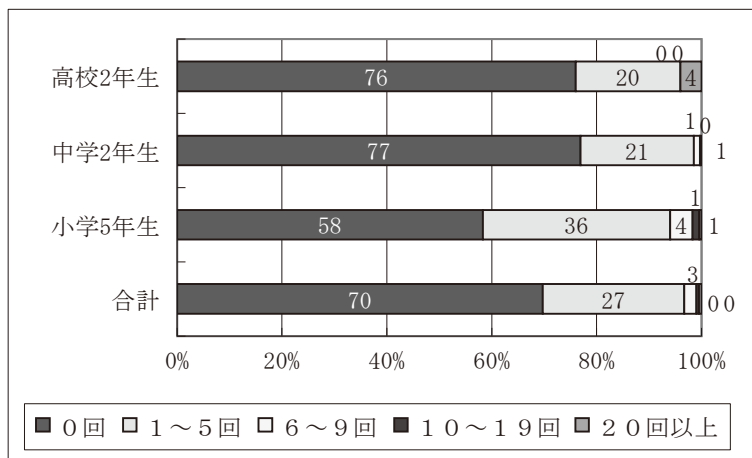


小さい頃に本を読んでもらった割合は、「ときどき読んでもらった(75%)」が最も多かったが、「その他」の中には、「毎日読んでもらった」「よく読んでもらった」などの回答が4%程度あり、読んでもらっていた人は8割である。

* その他: 毎日読んでもらった、よく読んでもらった、とてもたくさん読んでもらった、いつも、毎晩、覚えていない、わからない、自分で読んだ。

先月(2022年8月)1か月の間に、地域の図書館・公民館図書室に何回行きましたか。

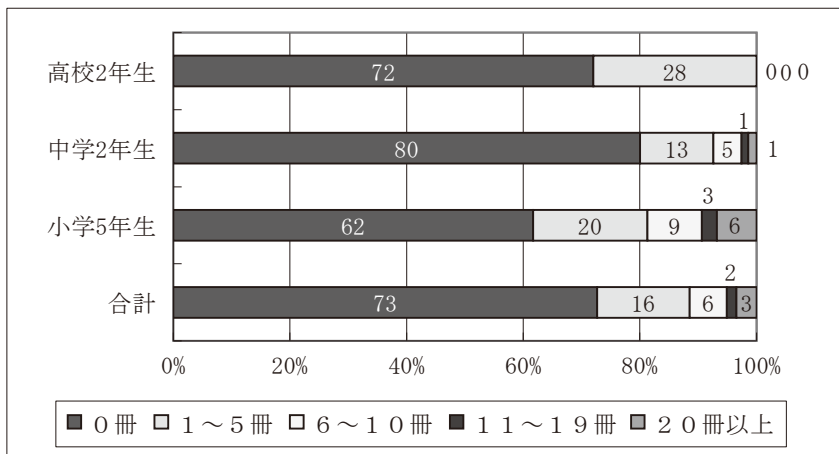
回答	合計	小学5年生	中学2年生	高校2年生
0回	426	137	270	19
1～5回	165	84	76	5
6～9回	14	10	4	0
10～19回	3	3	0	0
20回以上	3	1	1	1



先月1か月の間に、地域の図書館・公民館図書室に行った回数は「0回(70%)」、「1～5回(27%)」である。中・高生は小学生に比べて図書館等に行く回数が少ない。

先月(2022年8月)1か月の間に、地域の図書館・公民館図書室で借りた本は何冊ありましたか。

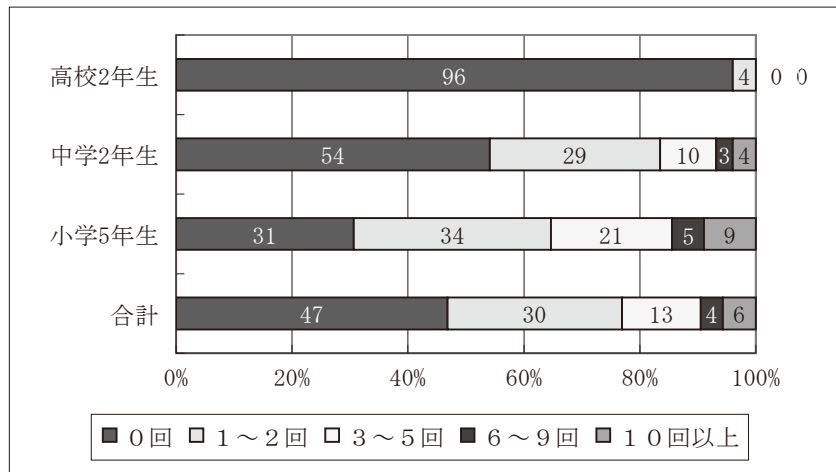
回答	合計(人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
0冊	444	145	281	18
1～5冊	97	46	44	7
6～10冊	39	22	17	0
11～19冊	10	6	4	0
20冊以上	21	16	5	0



先月1か月の間に、地域の図書館・公民館図書室で借りた本の数は「0冊(73%)」、「1～5冊(16%)」、「6～10冊(6%)」、「20冊以上(3%)」、「11～19冊(2%)」である。小学生は比較的まったく借りない割合が低く、たくさん借りる割合が高い。

2022年6月1か月の間に、学校図書館に何回行きましたか。

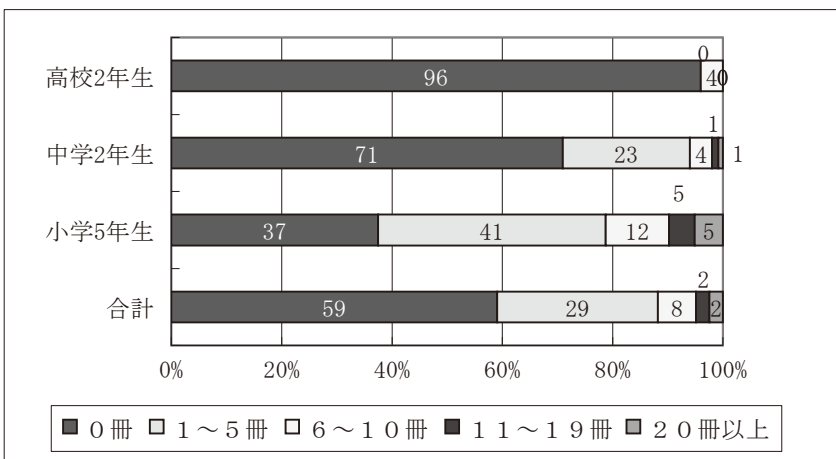
回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
0回	286	235	351	25
1～2回	184	72	190	24
3～5回	83	80	103	1
6～9回	23	49	34	0
10回以上	35	13	10	0
		21	14	0



1か月の間に学校図書館に行った回数は、「0回(47%)」、「1～2回(30%)」、「3～5回(13%)」である。学年が上がるにつれ、1回も行かなかった割合が増える。

2022年6月1か月の間に、学校図書館で借りた本は何冊ありましたか。

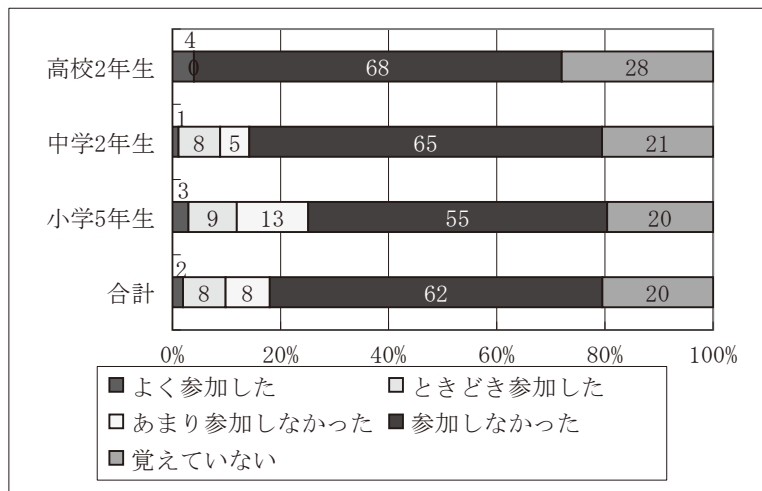
回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
0冊	361	235	351	25
1～5冊	178	88	249	24
6～10冊	42	97	81	0
11～19冊	15	27	14	1
20冊以上	15	11	4	0
		12	3	0



1か月の間に学校図書館で借りた本の数は、「0冊(59%)」、「1～5冊(29%)」、「6～10冊(8%)」である。学年が上がるにつれ、1冊も借りなかった割合が高くなっている。

地域の図書館・公民館図書室の「おはなし会」などの行事に参加したことがありますか。

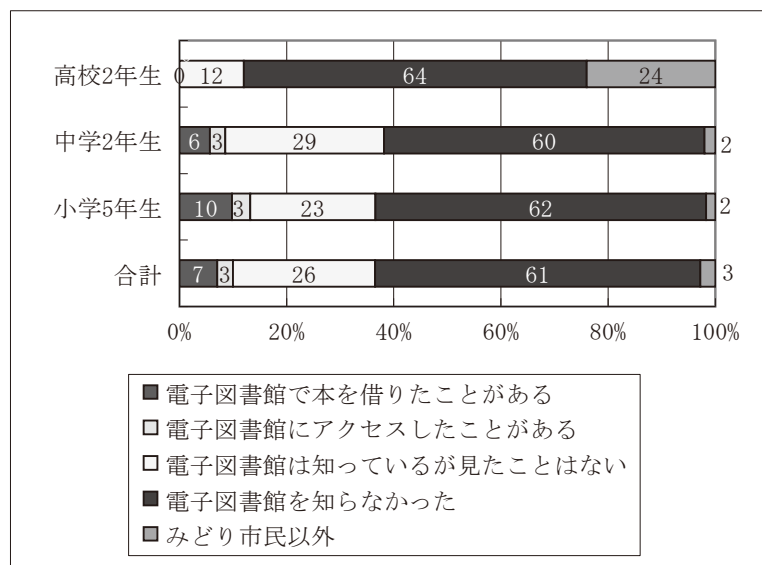
回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
よく参加した	12	7	4	1
ときどき参加した	48	21	27	0
あまり参加しなかった	50	31	19	0
参加しなかった	376	130	229	17
覚えていない	125	46	72	7



おはなし会などの行事に参加した割合は、「よく参加した(2%)」、「ときどき参加した(8%)」が全体の1割である。

みどり市立電子図書館を利用したことがありますか。

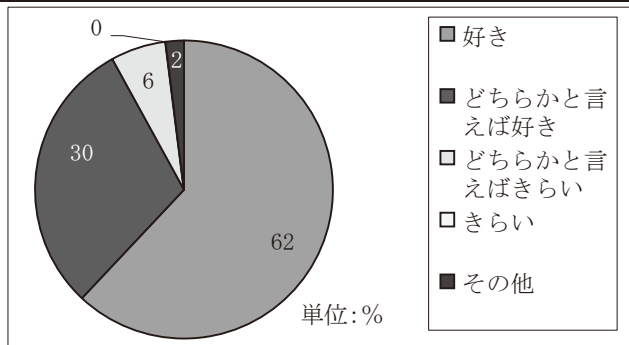
回答	合計 (人)	小学5年生	中学2年生	高校2年生
電子図書館で本を借りたことがある	43	23	20	0
電子図書館にアクセスしたことがある	18	8	10	0
電子図書館は知っているが見たことはない	162	55	104	3
電子図書館を知らなかった	371	145	210	16
みどり市民以外	17	4	7	6



電子図書館については、「電子図書館で本を借りたことがある(7%)」、「電子図書館にアクセスしたことがある(3%)」が全体の1割である。知らなかった人が6割となっている。

お子さんは絵本や物語が好きですか。

回答	割合(%)	回答数(人)
好き	62	40
どちらかと言えば好き	30	19
どちらかと言えば嫌い	6	4
嫌い	0	0
その他	2	1

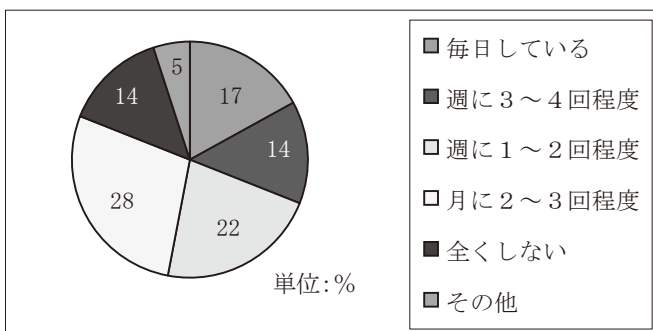


子どもは絵本や物語が「好き(62%)」、「どちらかと言えば好き(30%)」という回答は全体の9割以上である。

*その他:嫌いでも好きでもなさそう

お子さんに絵本や物語の読み聞かせをしていますか。

回答	割合(%)	回答数(人)
毎日している	17	11
週に3～4回程度	14	9
週に1～2回程度	22	14
月に2～3回程度	28	18
全くしない	14	9
その他	5	3

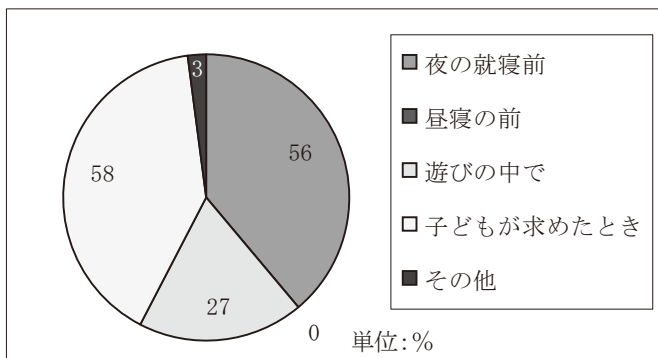


読み聞かせの頻度は「月に2～3回程度(28%)」、「週に1～2回程度(22%)」、「毎日している(17%)」の順が多い。多くの保護者が数日おきに読み聞かせを行っている。

*その他:子どもが自分で読めるようになったのでしていない。

読み聞かせをする時間帯はいつですか。(複数回答、2つまで)

回答	割合(%)	回答数(人)
夜の就寝前	56	36
昼寝の前	0	0
遊びの中で	27	17
子どもが求めたとき	58	37
その他	3	2

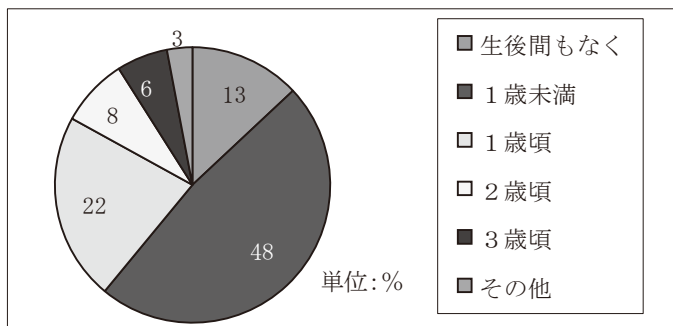


読み聞かせの時間帯は「子どもが求めたとき(58%)」、「夜の就寝前(56%)」、「遊びの中で(27%)」の順が多い。多くの保護者が数日おきに読み聞かせを行っている。

*その他:読み聞かせをしていない、子どもが自分で読めるので。

お子さんにいつ頃から読み聞かせを始めましたか。

回答	割合(%)	回答数(人)
生後間もなく	13	8
1歳未満	48	31
1歳頃	22	14
2歳頃	8	5
3歳頃	6	4
その他	3	2

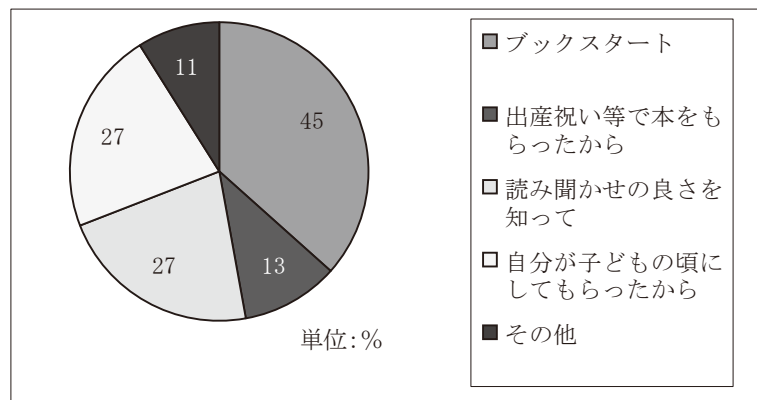


読み聞かせを始めた年齢は「1歳未満(48%)」、「1歳頃(22%)」、「生後間もなく(13%)」である。多くの保護者が早い時期から読み聞かせを行っている。

*その他:1年前ぐらい、わからない

読み聞かせを始めたきっかけは何ですか。(複数回答、2つまで)

回答	割合(%)	回答数(人)
ブックスタート	45	29
出産祝い等で本をもらったから	13	8
読み聞かせの良さを知って	27	17
自分が子どもの頃にしてもらったから	27	17
その他	11	7

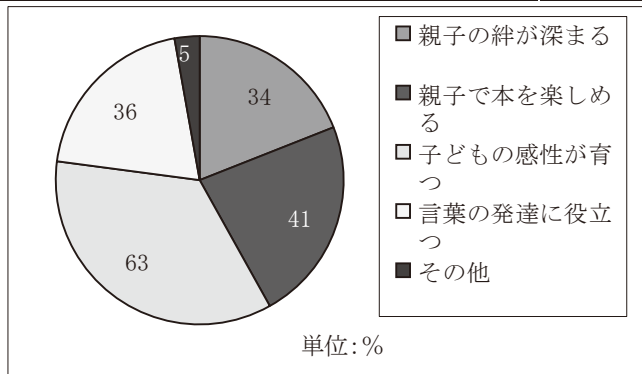


読み聞かせを始めたきっかけは、「ブックスタート(45%)」、「読み聞かせの良さを知って(27%)」、「自分が子どもの頃にしてもらったから(27%)」が多い。

*その他:寝る前の習慣としてリズムが作れるといいと思ったから。
なんとなく子どもとのかかわりの中で。

読み聞かせの良いところは、何だと思いますか。(複数回答、2つまで)

回答	割合(%)	回答数(人)
親子の絆が深まる	34	22
親子で本を楽しめる	41	26
子どもの感性が育つ	63	40
言葉の発達に役立つ	36	23
その他	5	3

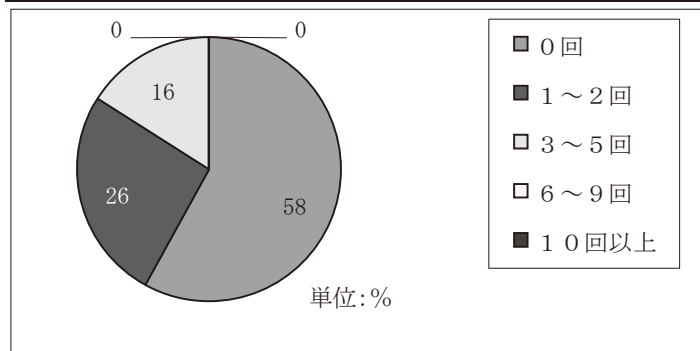


読み聞かせの良いところは、「子どもの感性が育つ(63%)」が最も多く、続いて「親子で本を楽しめる(41%)」、「言葉の発達に役立つ(36%)」である。

*その他:本に興味を持ち、大きくなって自然と自分で読む習慣ができた。

先月(2022年8月)1か月の間に、親子で地域の図書館・公民館図書室に何回行きましたか。

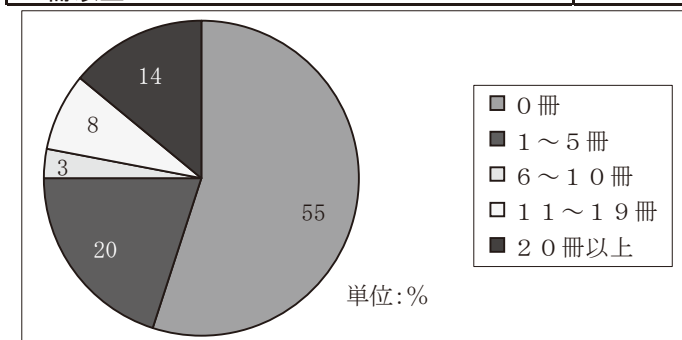
回答	割合(%)	回答数(人)
0回	100	64
1～2回	58	37
3～5回	26	17
6～9回	16	10
10回以上	0	0



1か月の間に図書館・公民館図書室に行った回数は、1回以上が42%、0回が58%であった。

先月(2022年8月)1か月の間に、地域の図書館・公民館図書室で子どものために借りた本は何冊ありましたか。

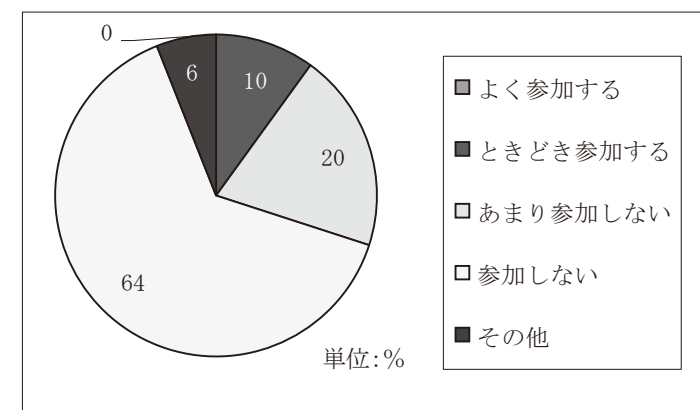
回答	割合(%)	回答数(人)
0冊	100	64
1～5冊	55	35
6～10冊	20	13
11～19冊	3	2
20冊以上	8	5



1か月の間に図書館・公民館図書室で子どものために借りた本の数は、0冊が最も多く55%、1冊以上借りた割合は45%であった。

あなたはお子さんと、地域の図書館・公民館図書室の「おはなし会」などに参加したことがありますか。

回答	割合(%)	回答数(人)
よく参加する	100	64
ときどき参加する	0	0
あまり参加しない	10	6
参加しない	20	13
その他	64	41

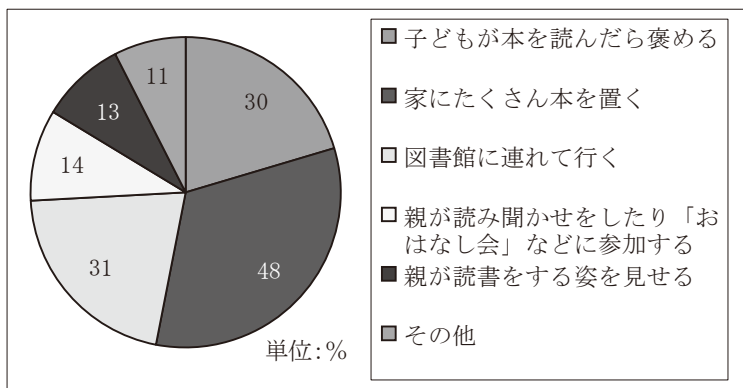


「おはなし会」に参加したことがある割合は30%、参加しないは70%である。感染対策のため2年ほど未開催の時期があったことも影響していると思われる。

*その他: 小さい頃はよく参加した。

家庭において、お子さんが読書に関心を持つために、していることはありますか。(複数回答、2つまで)

回答	割合(%)	回答数(人)
子どもが本を読んだら褒める	30	19
家にたくさん本を置く	48	31
図書館に連れて行く	31	20
親が読み聞かせをしたり「おはなし会」などに参加する	14	9
親が読書をする姿を見せる	13	8
その他	11	7

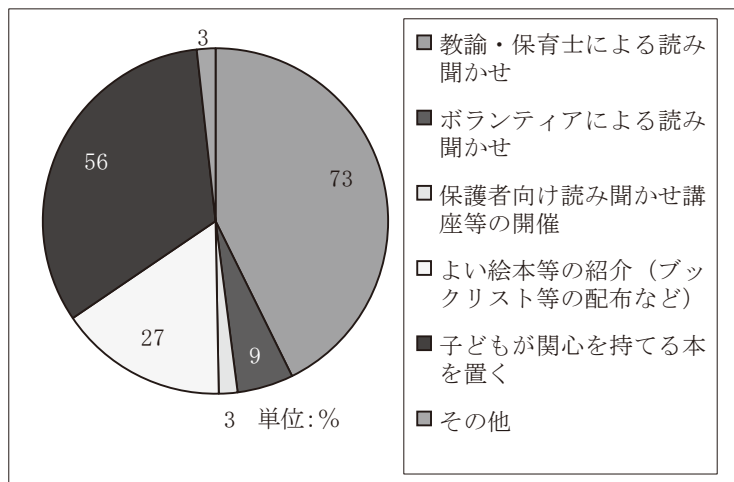


子どもが読書に関心を持つためにしていることは、「家にたくさん本を置く(48%)」が最も多く、「図書館に連れて行く(31%)」、「子どもが本を読んだら褒める(30%)」が続いている。

*その他: 保育園の貸し出しの本を借りている。

お子さんが読書に関心を持つために、幼稚園・保育園・認定こども園などに、どのようなことを望みますか。(複数回答、2つまで)

回答	割合(%)	回答数(人)
教諭・保育士による読み聞かせ	73	47
ボランティアによる読み聞かせ	9	6
保護者向け読み聞かせ講座等の開催	3	2
よい絵本等の紹介(ブックリスト等の配布など)	27	17
子どもが関心を持てる本を置く	56	36
その他	3	2

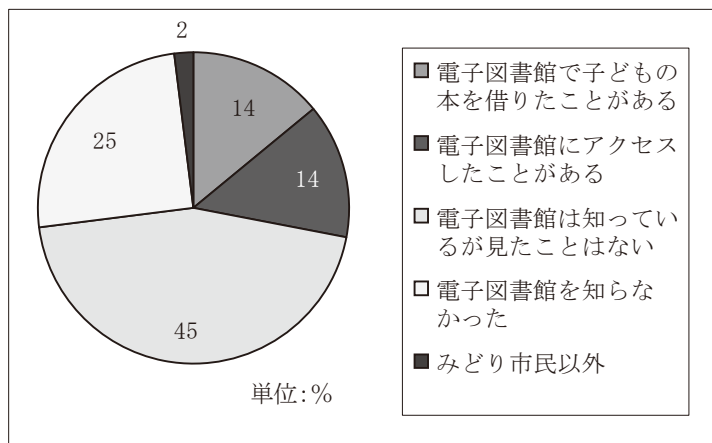


子どもが読書に関心を持つために幼稚園、保育施設に望むことは、「教諭・保育士による読み聞かせ(73%)」が最も多く、「子どもが関心を持てる本を置く(56%)」、「よい絵本等の紹介(27%)」が続いている。

*その他: 図書館に行き、自分で読みたい本を選ばせる。

お子さんのために、みどり市立電子図書館を利用したことがありますか。

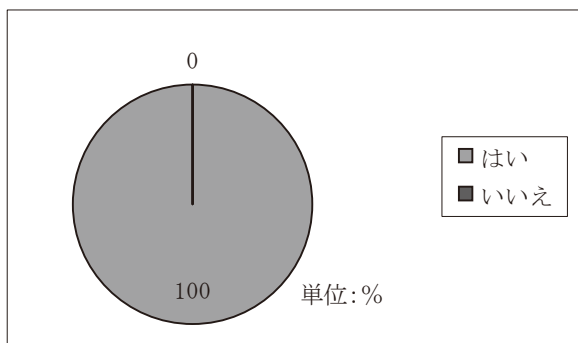
回答	割合(%)	回答数(人)
	100	63
電子図書館で子どもの本を借りたことがある	14	9
電子図書館にアクセスしたことがある	14	9
電子図書館は知っているが見たことはない	45	29
電子図書館を知らなかった	25	16
みどり市民以外	2	1



電子図書館にアクセスした割合は28%、知っているが見たことはない割合が45%、知らなかった割合は25%である。

絵本や紙芝居などの読み聞かせを実施していますか。

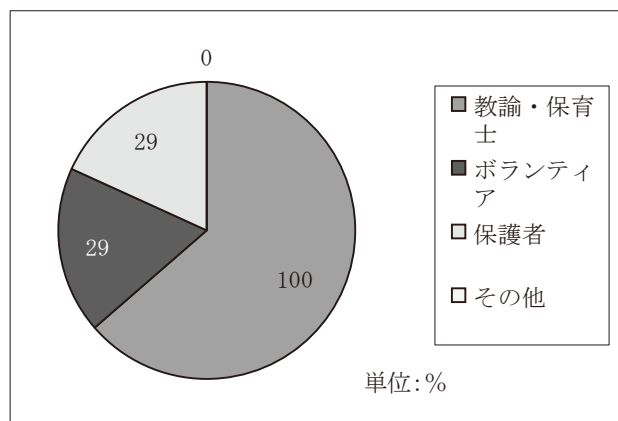
回答	割合(%)	回答数(施設)
はい	100	7
いいえ	0	0



絵本や紙芝居などの読み聞かせはすべての園で実施している。

読み聞かせは誰が行いますか。(複数回答、当てはまるものすべて)

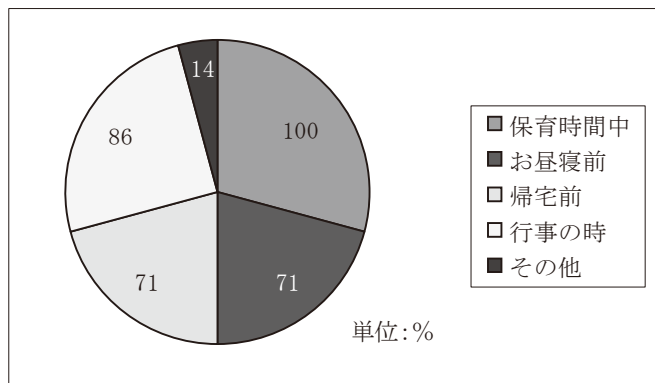
回答	割合(%)	回答数(施設)
教諭・保育士	157	11
ボランティア	100	7
保護者	29	2
その他	29	2
その他	0	0



読み聞かせを行うのは、「教諭・保育士(100%)」、「ボランティア(29%)」「保護者(29%)」であった。

読み聞かせはいつ行いますか。(複数回答、当てはまるものすべて)

回答	割合(%)	回答数(施設)
保育時間中	343	24
お昼寝前	100	7
帰宅前	71	5
行事の時	71	5
その他	86	6
その他	14	1

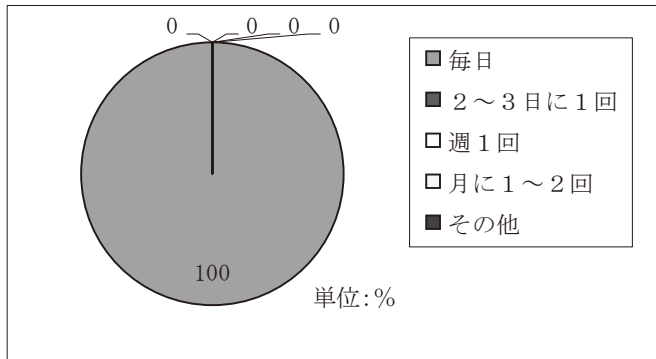


読み聞かせを行う時間帯は、「保育時間中(100%)」、「行事の時(86%)」、「お昼寝前(71%)」、「帰宅前(71%)」であった。

*その他:朝の集まりの時

読み聞かせはどれくらいの頻度で行いますか。

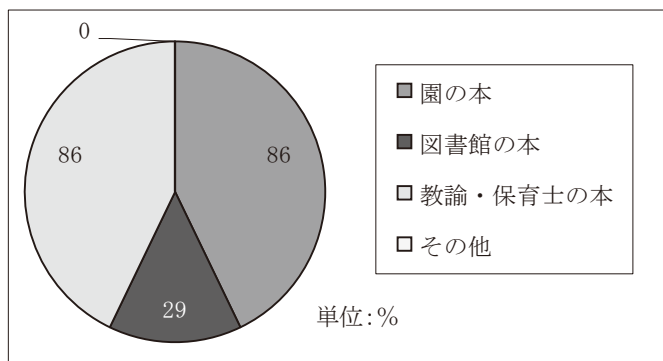
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	7
毎日	100	7
2～3日に1回	0	0
週1回	0	0
月に1～2回	0	0
その他	0	0



読み聞かせはすべての園で毎日行っている。

読み聞かせに使う本は、主にどのものですか。(複数回答、2つまで)

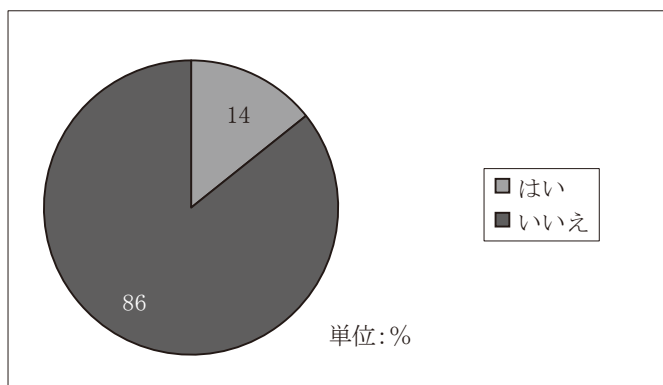
回答	割合(%)	回答数(施設)
	200	14
園の本	86	6
図書館の本	29	2
教諭・保育士の本	86	6
その他	0	0



読み聞かせに使う本は、「園(86%)」、「教諭・保育士(86%)」、「図書館(29%)」であった。

「読書週間」や「子ども読書の日」の啓発に取り組んでいますか。

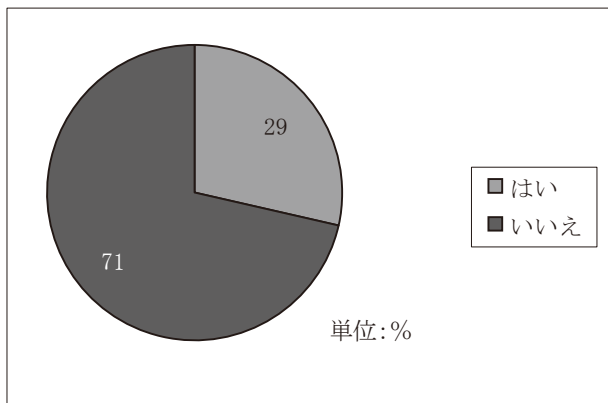
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	7
はい	14	1
いいえ	86	6



読書週間等の啓発を実施している園は14%、していない園は86%である。

読書活動において、ボランティアとの連携や協力がなされていますか。

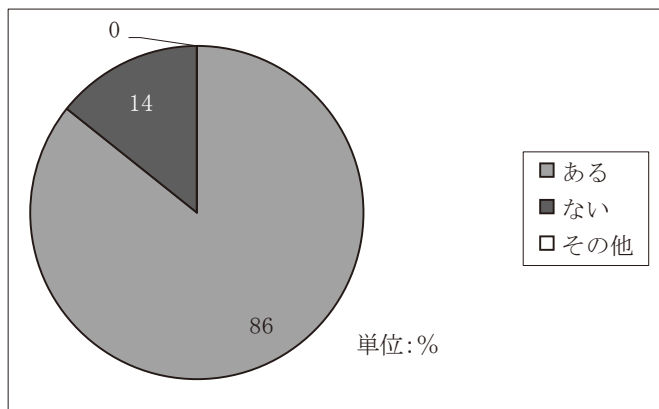
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	7
はい	29	2
いいえ	71	5



ボランティアとの連携をしている園は、29%、PTA役員の中に読み聞かせ委員がいる。「いいえ」と回答した園の中には、これから連携したいと考えている園もある。

図書室や図書コーナーはありますか。

回答	割合(%)	回答数(人)
	100	7
ある	86	6
ない	14	1
その他	0	0



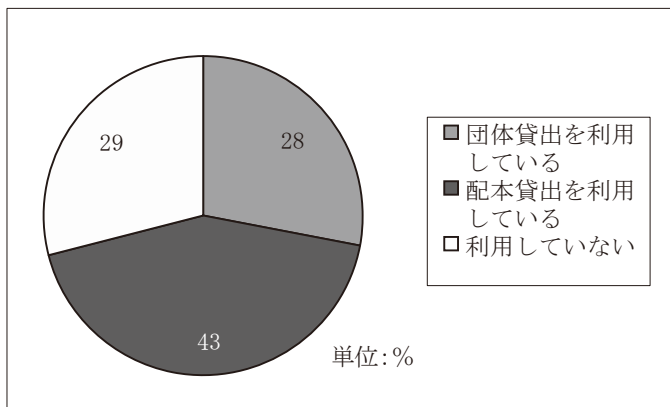
図書室や図書コーナーを設置している園は86%、していない園は14%であった。

園で1年間に購入する本は何冊くらいですか。

回答した園の平均は58冊

団体貸出や配本貸出を利用していますか。

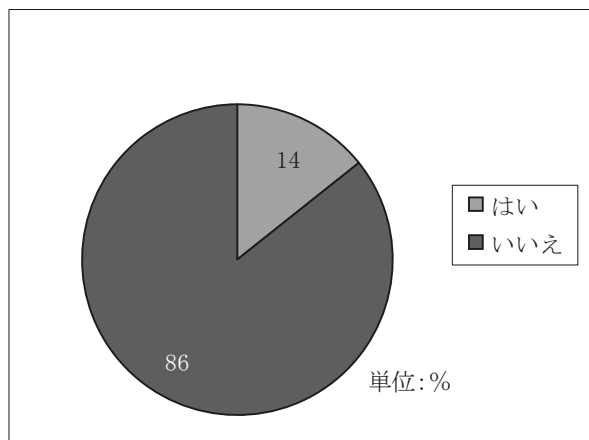
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	7
団体貸出を利用している	28	2
配本貸出を利用している	43	3
利用していない	29	2



団体貸出・配本貸出を利用している園は71%、利用していないところは、管理の手間、園にたくさんある、などの理由であった。

市立図書館・公民館図書室で行っている、読み聞かせなどの出前講座は利用していますか。

回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	7
はい	14	1
いいえ	86	6



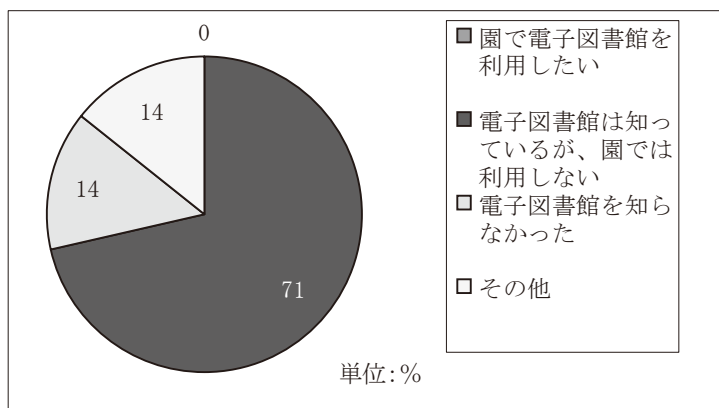
出前講座を利用しているところは14%であった。ただし、感染症対策のためしばらく休止している。利用していない理由としては、保育士で足りている、タイミングが合わない、などがあげられている。

子どもの読書活動推進のために、独自で取り組まれている活動がありましたらご記入ください。

- ・絵本の家庭への貸出
- ・給食後の食休みの際に自分の好きな絵本を読んでいる。
- ・希望者には月間絵本の年間購読をしていただいている。
- ・大きいクラスは、定期購入している絵本を持ち帰る前の1週間、自分のロッカーに入れて自由に読めるようにしている。

みどり市立電子図書館についておたずねします。

回答	割合(%)	回答数(人)
	100	7
園で電子図書館を利用したい	0	0
電子図書館は知っているが、園では利用しない	71	5
電子図書館を知らなかった	14	1
その他	14	1

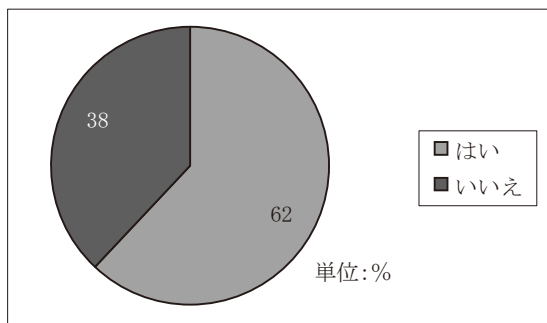


電子図書館を園で利用したいと考えているところは、なかった。

*その他:園では環境が整っていない。

全校一斉の朝読書時間を導入していますか。

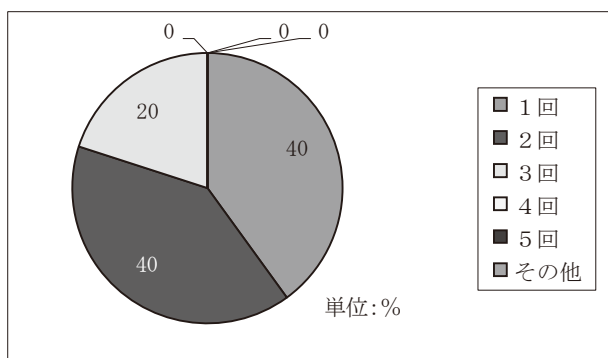
回答	割合(%)	回答数(施設)
はい	62	5
いいえ	38	3



朝読書の時間として設けている割合は62%、その他に、朝学習の中で自由に読書ができる学校もある。以前はやっていたがやめた学校もある。

朝読書時間は週に何回ですか。(導入している学校のみ回答)

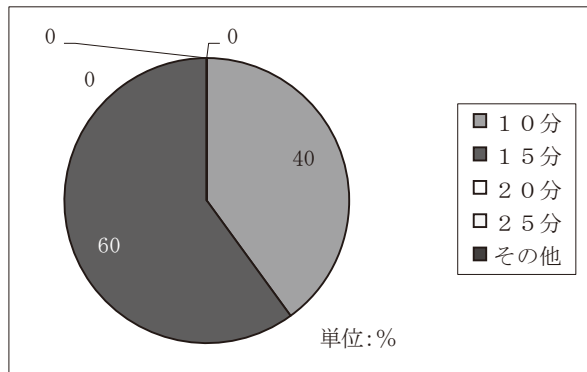
回答	割合(%)	回答数(施設)
1回	40	2
2回	40	2
3回	20	1
4回	0	0
5回	0	0
その他	0	0



朝読書の回数は、週1回及び週2回が80%、週3回実施している学校もある。

朝読書の時間は何分ですか。(導入している学校のみ回答)

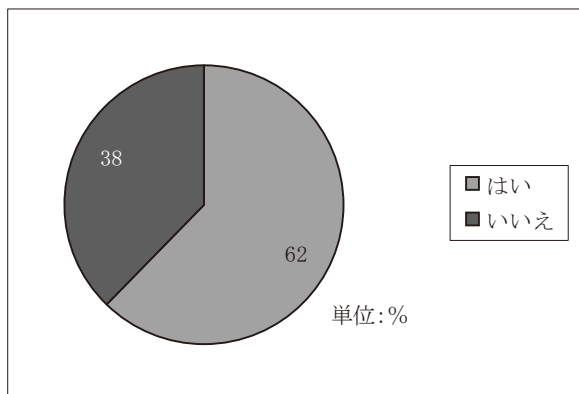
回答	割合(%)	回答数(施設)
10分	40	2
15分	60	3
20分	0	0
25分	0	0
その他	0	0



朝読書の時間は、15分が60%、10分が40%であった。

「読書週間」や「子ども読書の日」の啓発に取り組んでいますか。

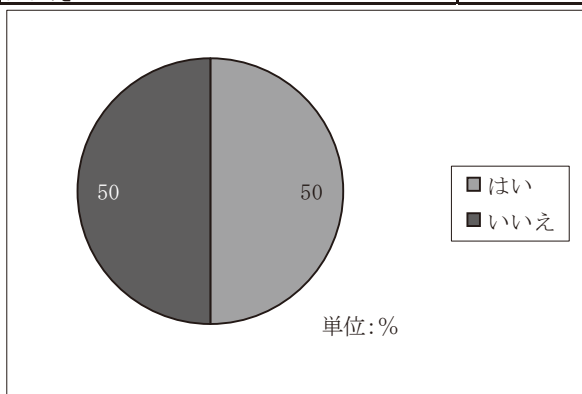
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
はい	62	5
いいえ	38	3



啓発に取り組んでいる学校は62%、取り組んでいない学校は38%であった。取組内容としては、親子読書週間の設定、おすすめ本の紹介、ポスター等の掲示、読み聞かせ、長期休みを活用した読書課題などが挙げられている。

読書活動において、ボランティアとの連携や協力がなされていますか。

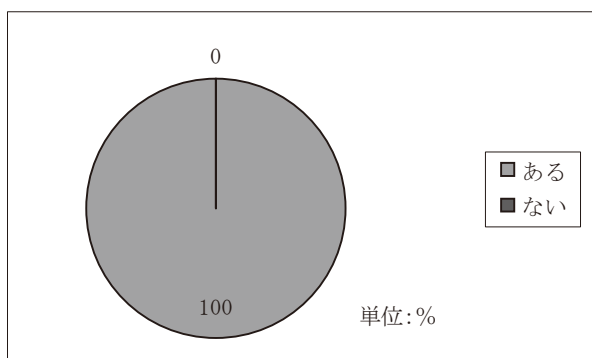
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
はい	50	4
いいえ	50	4



ボランティアとの連携・協力をしている学校は50%、内容は地域の人やボランティアによる読み聞かせである。

図書室や図書コーナーはありますか。

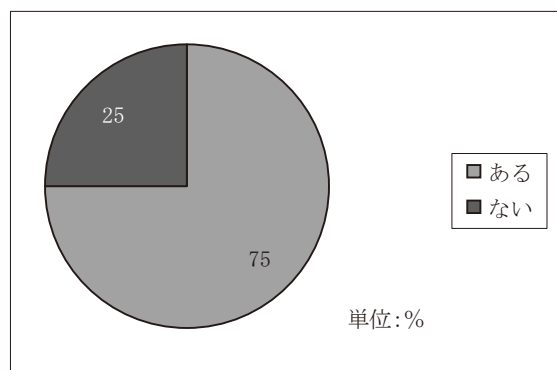
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
ある	100	8
ない	0	0



図書室や図書コーナーは、すべての学校で設置している。

学校図書館以外に、教室に「学級文庫」等がありますか。

回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
ある	75	6
ない	25	2



教室に学級文庫等がある学校は75%である。

学校図書館で1年間に購入する本は何冊ぐらいですか。

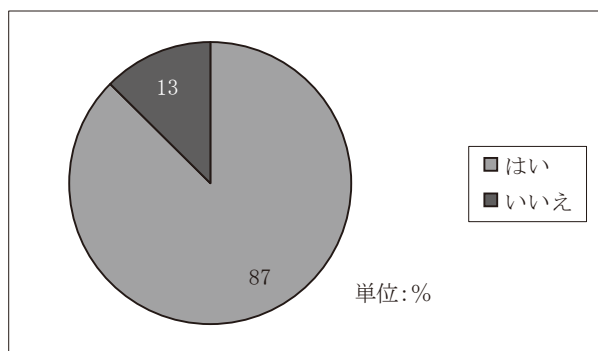
・平均1校あたり172冊

学校図書館の年間貸出冊数は何冊ぐらいですか。

・平均1校あたり5,449冊

市立図書館・公民館図書室で行っている団体貸出や配本貸出は利用していますか。

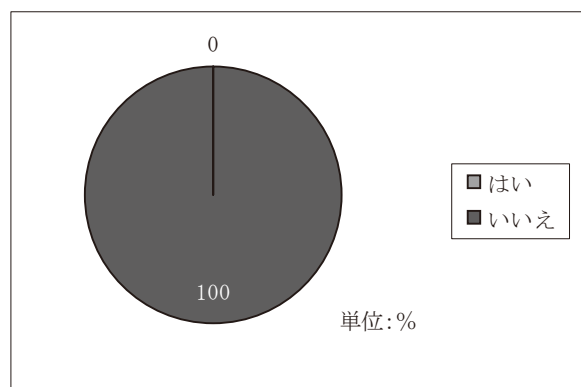
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
はい	87	7
いいえ	13	1



団体貸出・配本貸出を利用している学校は87%である。利用しない理由としては、学校の蔵書が多いので間に合っていると回答があった。

市立図書館・公民館図書室で行っている読み聞かせなどの出前講座は利用していますか。

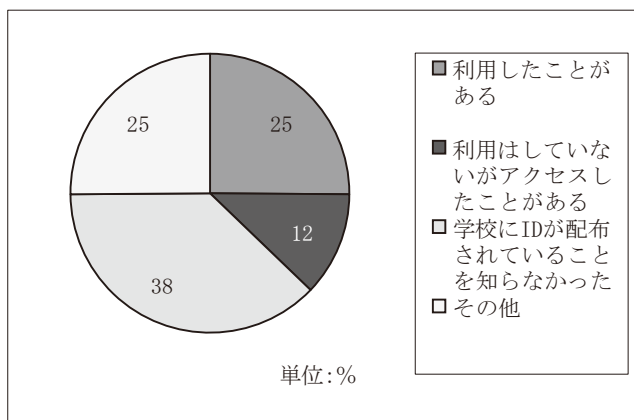
回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
はい	0	0
いいえ	100	8



新型コロナ感染拡大の影響もあり、出前講座を利用している学校はない。コロナ以前については、利用しない理由として、ボランティアの活用や児童による読み聞かせの実施、出前講座を知らなかった、などが挙げられている。

みどり市立電子図書館を利用したことがありますか。

回答	割合(%)	回答数(施設)
	100	8
利用したことがある	25	2
利用はしていないがアクセスしたことがある	12	1
学校にIDが配布されていることを知らなかった	38	3
その他	25	2



電子図書館を利用したことがある、アクセスしたことがあるの合計が37%であった。

* その他: 知っているが利用したことはない。
各クラスにIDは配っている。

子どもの読書活動推進のために独自で取り組まれている活動等がありましたらご記入ください。

- ・2年生の生活科の学習と関連させて、司書による図書館のひみつを実施した。
- ・新着図書のコーナーや特設コーナーの設置
- ・学級文庫を図書委員とともに整理して使いやすくした。
- ・国語科と連携したビブリオバトル
- ・独自ではないが、カーリルの学校図書館支援プログラムを利用し、PCやスマホでの蔵書の検索と予約が可能

2. 今後の目標とする指標

子どもの読書活動を推進していくためには、家庭をはじめ、学校等、図書館、地域が連携をとり社会全体で取り組むことが重要です。そこで3つの目標を設定し読書活動の推進を図っていきます。

- ・ **目標1** 1 か月間に1冊も本を読まなかった子どもの割合（不読率）の低下
（児童・生徒アンケートより）

区分	2022 年度 (基準年度)	2027 年度 (目標年度)
小学5年生	10%	3%
中学2年生	14%	12%
高校2年生	44%	40%

- ・ **目標2** 1 か月間に親子で図書館に行った割合の向上
（保護者アンケートより）

区分	2022 年度 (基準年度)	2027 年度 (目標年度)
5歳児	42%	60%

- ・ **目標3** 全校一斉朝読書の実施校数の向上
（小・中・高校施設アンケートより）

2022 年度 (基準年度)	2027 年度 (目標年度)
5校	12校

参考資料

○ 子どもの読書活動推進に関する施設一覧

名 称	住 所	電話番号
幼 稚 園		
笠懸幼稚園	笠懸町鹿 4590-2	0277-76-2714
阿左美幼稚園	笠懸町阿左美 967-2	0277-76-7320
大間々南幼稚園	大間々町大間々 895-1	0277-73-0067
保 育 園・認定こども園		
笠懸第1保育園	笠懸町阿左美 3740	0277-76-2012
笠懸いずみ保育園	笠懸町阿左美 805-2	0277-76-5511
幼保連携型認定こども園 笠懸いずみ第二こども園	笠懸町久宮 299-1	0277-46-7581
たけのこ保育園	笠懸町西鹿田 21-1	0277-76-2697
けやき保育園	笠懸町鹿 4643-1	0277-76-2054
幼保連携型認定こども園 みどりのもり	笠懸町鹿 2532-10	0277-76-6508
大間々保育園	大間々町大間々 792-2	0277-72-1448
二葉保育園	大間々町大間々 2261-3	0277-72-1182
赤城保育園	大間々町桐原 775-1	0277-72-2061
東保育園	大間々町大間々 471-1	0277-73-4188
ちえのみ保育園	東町花輪 215	0277-97-3377
小 学 校		
笠懸小学校	笠懸町鹿 346	0277-76-2100
笠懸東小学校	笠懸町阿左美 1010	0277-76-6167
笠懸北小学校	笠懸町阿左美 3730	0277-76-6833
笠懸西小学校	笠懸町鹿 3060-1	0277-77-1655
大間々北小学校	大間々町桐原 653	0277-72-1771
大間々南小学校	大間々町大間々 884	0277-72-1274
大間々東小学校	大間々町大間々 456-1	0277-73-1733
中 学 校		
笠懸中学校	笠懸町鹿 362	0277-76-2011
笠懸南中学校	笠懸町阿左美 829	0277-76-6211
大間々中学校	大間々町桐原 217	0277-73-1049

名 称	住 所	電話番号
大間々東中学校	大間々町大間々1829-1	0277-73-0516
義 務 教 育 学 校		
あずま小中学校	東町神戸 10	0277-97-3800
高 等 学 校		
群馬県立大間々高等学校	大間々町桐原 193-1	0277-73-1611
特別支援学校		
群馬県立渡良瀬特別支援学校	笠懸町鹿 2812	0277-76-7321
図 書 館 (室)		
笠懸図書館	笠懸町鹿 373	0277-77-1010
大間々図書館	大間々町大間々1332-3	0277-73-0707
東公民館図書室	東町花輪 205-1	0277-97-2721
公 民 館		
笠懸公民館	笠懸町阿左美 1581-1	0277-76-2211
大間々公民館	大間々町塩原 363	0277-76-2310
東公民館	東町花輪 205-1	0277-97-2721
学童保育所		
笠懸小学童クラブ	笠懸町鹿 4636-1	0277-76-6046
笠懸西小学童クラブ	笠懸町鹿 3060-1	0277-47-7371
第1 笠懸東学童クラブ	笠懸町阿左美 1010	0277-76-9977
第2 笠懸東学童クラブ	笠懸町阿左美 804-16	0277-76-9954
笠懸北小学童クラブ	笠懸町阿左美 3730	0277-76-8839
大間々南学童保育所	大間々町大間々884	0277-73-7331
大間々東学童保育所	大間々町大間々456-1	0277-73-7555
大間々北学童保育所	大間々町桐原 653	0277-73-7399
ちえのみ学童保育所	東町花輪 215	0277-97-3377
こじか学童クラブ	笠懸町鹿 256-1	0277-76-2336
保健センター		
健康管理課(大間々保健センター)	大間々町大間々1497-1	0277-72-2211

○ みどり市立図書館における子どもの読書活動の推進に関する取組状況

2022 年(令和 4 年)4 月 1 日現在

1. 施設数

施設名	施設数
公共図書館	2
公民館図書室	1

2. 職員配置状況

	笠 懸	大間々	東
職 員 数	1 3	1 2	4 (兼務)
正規職員	2	1	1
会計年度任用職員	1 1	1 1	3
うち司書数	4	6	0

3. 図書資料の状況

	笠 懸	大間々	東	合計	割合
図書購入費 (2021 年度) (千円)	6, 257	3, 650	98	10, 005	
蔵書冊数 (冊)	116, 059	120, 962	5, 874	242, 895	
うち児童書冊数 (冊)	40, 715	35, 054	3, 366	79, 135	32. 6%
図書貸出冊数 (2021 年度) (冊)	229, 273	147, 068	2, 587	378, 928	
うち児童書冊数 (冊)	62, 330	36, 652	765	99, 747	26. 3%

4. みどり市立図書館における子ども向け・親子向け事業の実績

2022 年度（令和 4 年度）

館 名	事業名	内 容	感染対策に よる対応
3 館共通	ブックスタート	みどり市の赤ちゃんを対象に絵本をプレゼントして、親子で「心ふれあうひとときを持つ」きっかけをつくる活動。赤ちゃんと保護者に対し笠懸図書館、大間々図書館、東公民館図書室で読み聞かせや手遊びの指導を行う。	読み聞かせ等を休止し、引換券により絵本を配付
	読み聞かせ	ボランティアによる定期読み聞かせ 笠懸：毎週金曜日・ぴよびよの会 ：毎月第 2 木曜日・あしの会 大間々：毎週土曜日・わらべの会 東：毎月 1 回・保育園 年 1 回・小学校 年 3 回・保健センター	休止
	こども探検隊	市内の小学生 3 年生から 6 年生を対象に、図書などによる情報、学習だけでなく、外部施設等に出かけて見学、体験することにより理解を深め、関心を高めることを目的に実施する。	休止
	こわいおはなし会	童謡ふるさと館を利用して、「あずま語りの会」のメンバーによる読み聞かせ	広い会場で、申込制により実施
	学校支援・連携事業	学校との連携を深め、学校図書館への配本や学習支援を行う。	
	保健センター連携事業	離乳食教室で図書館の利用案内、乳幼児への読み聞かせの重要性などを伝える。	休止
笠懸	子ども読書週間事業	・図書館ミッション ・読み聞かせ	読み聞かせは休止
	ワークショップ	・季節等に合わせた内容で、工作教室などを年に数回開催	休止
	夏休み行事	・「昭和」をテーマとした展示（大間々博物館と連携） ・キッズシネマ 「銭天堂」 ・図書館ミッション	
	花の詩画展	・富弘美術館と連携し、複製画を展示。2 日間のみ、美術館の本やグッズ販売あり	
	季節の行事	・ハロウィンイベント ・クリスマスイベント ・本の福袋	本の特集、セット貸出など
	古本市	図書館で除籍した資料を、書籍 100 円、雑誌 20 円で販売するもの	申込制、人数制限により実施

館 名	事業名	内 容	感染対策による対応
笠懸	読書週間行事	・ 図書館ミッション ・ 読み聞かせ	読み聞かせは休止
	キッズシネマ	・ 隔月に上映	隔月のものは休止、夏休みのみ実施
	その他	・ 生活環境課と連携し、年末の倍貸出セット（小学生以下対象）のおまけとして、SDGs をテーマとしたすごろくを作成した。	申込制、人数制限により実施
大間々	子ども読書週間事業	・ 春の図書館ミッション ・ 読み聞かせ	読み聞かせは休止
	季節の行事	・ クリスマス会 ・ ふろっくブックロー	クリスマス会は休止
	ワークショップ	・ 季節等に合わせた内容で、工作教室などを年に数回開催	休止
	本の紹介	・ 「推し本を紹介しよう」というコーナーを設け、利用者が薦める本を募集して推薦文とともに紹介。（一般書、児童書ともに対象）	
	夏休み行事	・ 読書感想文講座 ・ 子ども 1 日図書館員 ・ ミステリーツアー ・ 図書館ミッション	子ども 1 日図書館員とミステリーツアーは休止
	読書週間行事	・ 図書館ミッション&スタンプラリー ・ 読み聞かせ	
	子ども映画会	・ 各月に上映	休止
	古本市	図書館で除籍した資料を、書籍 100 円、雑誌 20 円で販売する。	申込制、人数制限により実施
東	読み聞かせ	・ 職員による読み聞かせ	休止

○ 関連法令

子どもの読書活動の推進に関する法律

平成 13 年 12 月 12 日 法律第 154 号

（目的）

第 1 条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

（基本理念）

第 2 条 子ども（おおむね 18 歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

（国の責務）

第 3 条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

（地方公共団体の責務）

第 4 条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

（事業者の努力）

第 5 条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

（保護者の役割）

第 6 条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

（関係機関等との連携強化）

第 7 条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努めるものとする。

（子ども読書活動推進基本計画）

第 8 条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第9条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第10条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、4月23日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第11条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附則

この法律は、公布の日から施行する。

○ 用語解説

No.	ページ	用 語	説 明
※1	1	ブックスタート	イギリスで1992年に始まり、2000年に日本に紹介された。みどり市では、2008年から生後4か月健診で引換券を配付し図書館（室）で実施している。赤ちゃんと保護者に読み聞かせの大切さを伝え絵本をプレゼントしている。
※2	1	朝読書	小学校、中学校、高等学校で朝の始業前の10分程度の時間を使って児童、生徒、教員と一緒に読書をする読書推進運動。
※3	6	オンライン閲覧（OPAC）	図書館の書誌情報をコンピュータに記録し、オンラインで接続して利用者が直接、蔵書データベースを検索することができる目録システム。
※4	6	図書館ミッション	子どもを対象にくじを引いて書かれている内容の本を借りるとスタンプを1つ押す。スタンプをためると景品がもらえるみどり市図書館独自の事業。
※5	7	ブックトーク	あるテーマにそって様々なジャンルの本を選び、順序立てて紹介すること。読書に興味を持たせるため、学校などで読書指導の一環として行われることが多い。
※6	7	配本貸出	幼稚園、保育施設、学校などが、園児、生徒などに貸出することを目的として、図書館が長期に図書を貸出すること。
※7	7	出前講座	図書館では、みどり市どこでも出前講座で読み聞かせをはじめ、4講座を実施している。
※8	8	配達貸出	身体の障がい等の理由により図書館に来館することが困難な人に、職員が自宅まで資料を配達すること。
※9	8	拡大読書器	本や雑誌などの印刷物を拡大しモニターに映し出す機器。
※10	8	音声読書器	本や雑誌などの印刷物の活字を音声で読み上げる機器。
※11	11	学校図書室司書補助員	みどり市の小学校、中学校において、司書教諭の補助をし、図書室業務を行う職員。

みどり市子どもの読書活動推進計画

発行年月：2023 年（令和 5 年）3 月

発 行：みどり市

編 集：みどり市教育委員会事務局社会教育課

住 所：〒376-0101

みどり市大間々町大間々235 番地 6

T E L：0277-76-9846

F A X：0277-76-1954

E-mail：shakai-k@city.midori.gunma.jp
